

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第 300 号

令和 6 年 5 月 8 日

瀬戸市立幡山中学校



## せと“ここ”ほっとルームって知ってる？

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

今年もあっという間に汗ばむ陽気になってきました。正門の弁天池のほとりに生えている「あやめ」ですが、今年も昨年よりもたくさん花を咲かせています。幡中だより「あやめ」も、この5月号で、記念すべき300号となりました。

さて、3月8日の中日新聞の記事でも紹介されたので、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、今年度、幡山中学校にせと“ここ”ほっとルームが開設されました。場所は、西館2階の学習室だったところ。部屋には、カーペットスペースやソファ、そしてゲーム類などが置いてあり、温かな日差しが注ぎ込む穏やかな空間となっています。学校の中にあるけれど、学校ではない空間、「新たな居場所」として4月15日からスタートしました。ここは、大きく①校内オアシス ②ほっとルーム ③学習室 ④相談・支援スペースという4つの機能を持ち合わせています。

- ① 校内オアシス………学校になかなか足が向かない子ども達が、この場所で安心して生活しながら、社会的自立をめざす場所
- ② ほっとルーム………学校帰りに、子ども達が気軽に立ち寄り、ゆっくり、のんびりくつろげる場所
- ③ 学習室………授業後や夏休み、冬休み中などに、落ち着いて学習できる場所
- ④ 相談・支援スペース…担当の支援員さんが、子ども、保護者、学校からの相談にのったり、専門機関と連携してつないでくれたりする場所

どれも、「子どもがまんなか」に置かれ、「居たい」「行きたい」「やってみたい」ことが実現できる場所です。

今の子ども達は、日ごろから様々なストレスのある社会で生活をしています。時には目標を見失ったり、深く心が傷ついたりすることもあるでしょう。そんなとき、一人ひとりの個性やペースが大切にされ、誰一人取り残されることなく、全ての子どもが安心して居心地よく過ごせる場所を確保したい、それを実現したのが「せと“ここ”ほっとルーム」なのです。

多様性が重視される現代の世の中において、学校は単に学ぶだけの場ではなく、安全に安心して過ごしながらか、他者と関わりながら育つ、大切な居場所の一つであると言われるようになりました。こうした多様な生き方を経験した子ども達が、今後の地域づくりの担い手となって、みなさんとつながっていきます。ぜひ、ここ“ほっと”ルームのことを知っていただき、学校の在り方が少しずつ変わっていつているんだなと思っただけいたら幸いです。



## 新入生を迎える会

4月12日(金)



新年度の緊張も少しずつほどけはじめた4月の半ばは、毎年、生徒会が中心となって企画・運営する「新入生を迎える会」が行われます。

吹奏楽部の演奏に合わせて入場する1年生の表情から、明るく充実した中学校生活を送っていることが感じられました。

在校生の合唱は中学生らしさを感じる力強いもので、1年生は驚きのまなざしで歌に聴き入っていました。

## 部活動見学・体験

見学…4月11日(木)、12日(金)  
体験…4月19日(金)、22日(月)、24日(水)  
30日(火)、5月1日(水)

4月半ばから1年生は、入部する部活動を決めるために部活動見学を行いました。そして数日間かけて体験入部を実施しました。先輩から丁寧に教えてもらい、楽しそうに活動していました。



## PTA 総会・授業参観・学年懇談会

4月18日(木)



昨年度に引き続き、今年度もPTA総会・授業参観・各学年懇談会の順に行いました。平日にも関わらず、多くの保護者の皆様に、幡山中学校へ足を運んでいただきました。

PTA総会では今年度の役員が承認され、今後の活動計画が伝えられました。学年懇談会では、担当教員の紹介の後、学年行事や学習・生活についての方針や説明がなされていました。

## 体育祭

6月6日(木) 午前9時~12時【予備日…7日(金)】  
場所…幡山中学校グラウンド

生徒の活動・活躍する姿を地域・保護者の皆様にもご参観いただけたら幸いです。実施の有無は当日朝にtetoru及び幡山中学校ホームページでお知らせします。また、当日の駐車場は大変少ないです。可能な限り自家用車以外での来校にご協力ください。